

平成31年度決算を認定

特集

定例会

決算

臨時会

一般質問

各種委員会活動

一般会計 歳入合計 131億7,348万円



自主財源	
①町税	37億5,243万円
②その他	17億 558万円
依存財源	
③地方交付税	26億1,262万円
④国県支出金	30億6,514万円
⑤町債	11億6,701万円
⑥その他	8億7,070万円

※万円未満四捨五入

一般会計 歳出合計 127億6,427万円

①民生費	45億8,973万円
②総務費	19億5,068万円
③教育費	17億8,683万円
④土木費	13億9,548万円
⑤衛生費	11億6,534万円
⑥公債費	9億9,991万円
⑦消防費	4億9,477万円
⑧その他	3億8,153万円

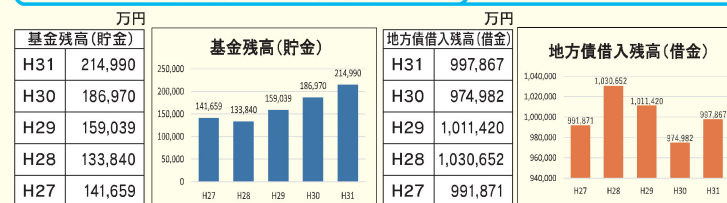
※万円未満四捨五入



●平成31年度決算表 ※万円未満四捨五入 前年度比

一般会計		歳入	131億7,348万円	12.8%増
		歳出	127億6,427万円	13.9%増
特別会計	国民健康保険	歳入	39億1,178万円	0.2%増
		歳出	37億9,541万円	3.3%減
	後期高齢者医療	歳入	4億4,002万円	4.3%増
		歳出	4億1,956万円	4.2%増

基金及び地方債借入残高の推移(直近5か年)



決算審査特別委員会
委員長 飛賀貴夫

平成31年度決算を徹底審査

決算審査については、議長を除く議員全員による決算審査特別委員会を設置し、活発な質疑を行いました。主な質疑を要約してお知らせします。

※すべての会計において、全員賛成で認定とするものと決定。

後期高齢者医療会計

医療費が県内でトップとなっている要因は、

大きな病院が近くに多くあり医療機関を受診しやすい状況にある。生活習慣病に起因する比較的高額な医療費がかかる病気の割合が県内の自治体の中で一番高い状況となっている。

100万円以上の滞納者が2名いるが、現状は。

国民健康保険会計

収納業務委託料の雇用人数と業務内容は、

平成30年度から嘱託職員から業務委託に変更、国保に特化したものではなく全体の収納業務となっている。人数は常勤2名、非常勤3名、経費については国保分と一般会計分6対4の割合で按分している。

新型コロナウイルス感染症の影響で国保加入者が増加すると予想しているが、今後の状況は。

上水道事業会計

自己水源比率が36.3%と増えているが、どうやって賄ったのか。

自己水源は、山の内、摩子岳浄水場を活用している。今回、自己水源比率が増えているのは、摩子岳浄水場で井戸からの取水を増やして対応している。

当年度の純利益と前年度の繰越剰余金で1億9千万円の財源があるがコロナの緊急事態ということで水道料金の減免・無償化の協議はなかったのか、また、2か



山の内浄水場

コロナの影響で会社が倒産したため国保に加入された場合は、減免制度がある。制度を利用することで税額が下がるので、それが直接滞納につながることはない。コロナの影響で減免した額についても国からの補てんがある。

景気の動向で国保の加入者が増え、若干滞納者が増えることを懸念している。

料金の月額の減免や水道料金の月額の減免を検討したが、不公平感があるため見送った。

ただ、基本料金の減免については今後も検討していく。無償の場合は、1億2千万円程度の財源が必要となる。

一般会計

福祉巡回バス事業は利用者から利用しにくいという声があるが令和3年度末の契約終了まで現行のまま実施するの。

現在、西鉄、地域コミュニティ活性化委員会に問題を投げかけながら協議を始めている。

コロナ対策事業でタクシーの助成事業として検討していない。

プラスチックごみのリサイクル化(油化)の推進は。

宇美町でも取入れられるようであれば検討する。

特集

定例会

決算

表決一覧

一般質問

各種委員会活動